

## 令和3年 市政ふれあい懇談会懇談要旨

- 開催日時 令和3年11月14日（日）10時から12時
- 開催場所 近隣センターふさの風
- 参加者 市民6名
- 出席者 星野市長、廣瀬総務部長、小林企画財政部長、隈市民生活部長、  
柏木環境経済部長、南川建設部長、森都市部長  
他管理職15名
- 懇談要旨

市民:いくつか質問いたします。下水処理場の臭いの話ですが、10月25日に、下水処理場を見学しました。工事の内容は説明いただき、残りについても来年度2列目まではやるという話でしたが、3列目までやらないと臭いはなくならないと思います。10月に入っても、まだ臭いがする時があります。布佐下や布佐平和台や南新木にかけて、南風の際は臭いがすることがあります。先日実施した説明会では、水害が発生すると、下水処理場は水没の危険性があることから水害対策も行っていくとのことでした。水害で、電気設備が水没すると下水処理場が停止します。そのようになるとトイレが使用できなくなります。臭いは狭い範囲かもしれないが、下水施設が止まると大きな影響が出ます。県や7市と協議を進めてほしいと思います。

次に10月7日に大きな地震がありました。揺れている最中に防災無線の放送がありました。これまで揺れている最中に放送されることはありませんでした。初めてではないでしょうか。なぜこんなに早く防災無線が出せるのか。この仕組みは何か。教えていただければと思います。

次に11月20日に予定している防災訓練についてです。今回は関係機関との連携を主体とした訓練となっています。今までの訓練は、形式的なものが多く、市民、行政との連携訓練があまりできていないと感じます。水害を含めた内容で、今後どのような提案が自治会に来るのか。また、避難基準もはっきりしていないことから、自治会はどのように対応していいかわからないと思いますので、市民の安全を確保するための仕組み、流れを自治会等と、よく協議をした中で、行っていただきたいと思います。

建設部長: 覆蓋に関しては、2列目の2つを発注済みです。今年度は3か所を実施する予定で、来年初めにあと1つが発注される見通しです。3列目に関して県は、臭気の状態等を把握して、と言っておりましたが、市としては、引き続きお願いをしていきたいと思っています。水害対策については広域的な話ですの

で、関係市と協力し、今後協議を進めていきたい思います。

市民生活部長：地震の際の防災無線について、お答えします。10月7日の午後10時41分に震度4の地震が発生しました。機械が震度4を計測すると自動で放送が流れるようなシステムになっております。

訓練については、関係機関との連携が重要と考えており、その訓練をメインとすることを予定しています。なお、コロナ禍のため、人数は制限して行うことになっています。小学校での訓練では、地元の皆さんと一緒に連携して訓練を行っていききたいと思いますので、自治会の方々のご意見をいただきながら進めていきます。情報についても、市が発信するものを取りに来ていただきたいと思いますので、そういった事もお伝えしていきたいと思います。

市長：水害対策は、基本的には利根川を決壊させないこと、手賀沼の水を溢れさせないこと、この対策が重要と考えます。どちらかが、決壊しても布佐は浸水してしまいます。また、ゲリラ豪雨への対策も必要です。現在も国と連携し、利根川上流事務所や下流事務所とも連携を取りながら、台風などの豪雨が予想される場合には、事前に手賀沼の水位を下げるなどの対策をとっております。地区テーマにもありましたように、布佐の排水路も計画的に進めているところです。しかし、まだ最上流まで到達しておりません。布佐南小学校も浸水の危険性がある場所です。現在、老朽化した19校の学校を児童生徒数に合わせ、分離型にするのか、一体型にするのか、学校の在り方を含め、校舎の建て替えについても検討中です。優先しているのは布佐中で、そのほかにも第4小や湖北台西小などが挙げられています。並木小も浸水エリアではありますが、様々な浸水エリアを考えながら、進めております。こういった中、クリーンセンターも浸水エリアですので、建て替えについては、かさ上げをして建設工事を行っております。

市民：令和4年度の主な予定事業にありますように、有害鳥獣対策についてです。ふれあい農園でも被害が出ています。相談すれば、市では対応してくれるのでしょうか。

環境経済部長：農業被害であれば、農政課が所管で、有害鳥獣につきましては、まずはこちらにご連絡ください。職員が駆け付けた際に見つからない場合は、罟を仕掛けるなどの対応になると思います。

市 民：防犯に関してです。特殊詐欺が市内でも多く発生しています。対策のため、布佐平和台では、受話器に貼るシールを3,000枚作成し、配布しました。警察でも被害にあわないようにと啓発しているようですが、なかなか家の中で貼ったりできるものがなく、自治会を通して、このようなシールを作成しました。経費も3,000枚で2万円ぐらいでした。出来れば、このようなものでなくても良いと思いますが、家の中で毎日目にするものとして、高齢者のみでもいいので、市としても検討してほしいということで、ご紹介させていただきました。よろしくお願いします。

市民生活部長：我孫子市に限らず、特殊被害は、増えております。市内では、令和2年で1月から12月までで24件で約4,000万円、令和3年は1月から9月末までで18件ですが、約9,000万円の被害がでました。手口も巧妙になってきており、ドラマ仕立ての様になっています。市としては、過去にも電話機に簡易にとりつけるものを配布しました。今後も啓発できるようなものを検討していきたいと思えます。

市 民：今日頂いた資料に記載されている水害対策について。点線部分を全て工事するというのでしょうか。また、左上の部分まで工事が終わるのはいつごろになるのでしょうか。それとこの実線の上の方は、問題なく排水できるのでしょうか。

建設部長：点線は今後の計画です。丸で囲まれた部分は、現在実施しているもので、最終的にすべて終了するのは令和9年を予定していますが、国の交付金や経済状況等によっては延びてしまう可能性もあります。実線以下はポンプ場に接続済みです。点線の先は宮の森公園につながっております。